

津山市学校施設長寿命化計画（案）に対するパブリックコメント実施結果

学校施設の修繕や更新における整備水準などの指針を定める「津山市学校施設長寿命化計画」の案を策定し、この計画案に対し、次のとおりご意見をいただきました。その内容と、これに対する考え方を取りまとめましたので、公表します。

今回、ご意見をお寄せいただいた方々のご協力にお礼申し上げます。

1 ご意見の提出状況

2人、5意見

2 ご意見の概要とこれに対する考え方

番号	ページ	計画書の体系	市の考え方
	ご意見の概要		
1	1	I 計画の概要 1 計画の位置付け	<p>学校施設の新增改築等の際には、事前に利用実態やニーズを関係者から聴取し設計を行っており、これまで十数校で、国の補助金を充当し、地域住民が生涯学習や社会体育等を行うことができるスペースを整備しています。</p> <p>また、児童クラブや地域活動の利用に資するため、関係各課と協議し、必要に応じて学校施設の財産処分や動線分離のための施工等も十数校で実施しております。</p> <p>単市財源だけで大規模な工事を行なうことは困難であるため、国等による有利な財源の充当を図り、事業を推進したいと考えています。</p> <p>現在の計画案は、このような経過を包含した上で作成しておりますので、計画案の修正は行いませんが、ご意見を参考に事業を推進してまいります。</p>
	計画の目的を「今後の整備水準や長期的な展望について整理すること」としているが、地域開放やコミュニティスクールへの移行のための施設整備も加えてはどうか。		
	3	II 学校施設の現状 1 計画対象施設の築年別整備状況	
	現在、施設整備の際に検討すべき事項として、老朽施設への対応の他、パソコン教室の整備、トイレの洋式化等を挙げているが、「地域住民との共用」も加えてはどうか。		
	26	IV 長寿命化の実施計画 4 概算事業費の試算	
	将来的な維持更新費用を検討するにあたり、より良い教育環境の整備という視点を踏まえ学校の適正規模や適正配置に留意するとしているが、「地域住民との交流や夜間等の学びの場に対する需要」も考慮に入れてはどうか。		
	29	IV 長寿命化の実施計画 7 計画の運用	
計画の運用において関係各課と協議が必要な場合の例として、他分野の長寿命化計画が策定される場合や、施設の適正配置にかかる検討を行う場合を挙げているが、「コミュニティスクールなど地域との連携を図る場合」も加えてはどうか。			

2	4	II 学校施設の現状 2 人口等の推移	<p>文部科学省は、長寿命化計画の策定において、統廃合が確定している学校以外は、現状の規模等を維持すると仮定して計画を策定するよう要請しております。</p> <p>そのため、本市は、学区毎の児童生徒数の増減に関わらず、既存施設が存続するとして計画を策定しています。</p> <p>本計画の趣旨は、既存施設の躯体等の健全性を示すことや、整備水準を設定することにあるため、原案のままとすることをご理解下さい。</p> <p>なお、実際の整備にあたっては、ご意見のとおり、児童生徒数の増減や学習指導要領の改訂等に伴う教育施設の需要等も勘案し、事業を行ないます。</p>
<p>市全域での児童生徒数の推移は掲載されているが、学校毎の推移は明記されていない。今回の計画では、生徒数の推移が大きく関係すると思われるため、現在の校区割を基に、生徒数の予測を明示してはどうか。</p>			